

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成 26 年 8 月 7 日 (19 : 00 ~ 20 : 00)		
実施場所	本町分庁舎 4 階	参加人数	23 人
参加対象	十日町地域振興連合会		
懇談内容	<p>【1. 発言者】</p> <p>① まだ決まっていないようだが、国道 253 号の高規格道路の十日町 I C がどの辺になるのか。</p> <p>② 市では焼却場を整備しているが、単にゴミを燃やすだけでなく、燃やす熱で発電し、近くの施設の電気に利用することを考えられないか。 関連してリサイクル関係の企業、あるいはプラント会社関係の企業の誘致を考えてはどうか、新たな企業が参入することで雇用も生まれる。</p> <p>【市 長】</p> <p>① 高規格道路については、現在、十日町の八箇から六日町の野田までの間で工事しており、八箇・野田間は平成 29 年には開通する予定。今年中にトンネルは繋がる。十日町 I C の位置をどこにするかは、今まさに検討しているところである。</p> <p>② 焼却場は、あと 1 年半ほどで新しい施設が完成する。ご提案のように色々なことができると思うが、今は排熱を利用してキノコの廃菌床をペレット化できないかチャレンジしている。 十日町市には、間伐材から木質ペレットを製造する高木沢企業がある。こうした企業が地元にあることは非常に有利だ。</p> <p>【2. 発言者】</p> <p>① 除雪作業があるので「愛宕坂」にガードレールを着けることは難しいかもしれないが、児童の通学時が心配である。</p> <p>② 「体育館坂」はカーブが多く、車のスリップ事故も多い。登校時に事故があると通学に危険を感じる。十日町小学校・ふれあいの丘支援学校・発達支援センターが一緒になってから交通量も増えた気がする。</p> <p>【市 長】</p> <p>① 「愛宕坂」はもともと幅員がないので難しいが、雪以外のシーズンは崖のところ何とかしないとイケないと思う。</p> <p>② 「夢の学校」ということで P T A の皆さんの長年の夢が叶ったわけだが、市内から広く行き来がある上、給食関係の車などもあり、交通量は多くなったかもしれない。 市民文化ホールができた後の公民館の跡地利用を、旧青少年ホーム跡地、旧テクノスクールと一体で考えれば、「体育館坂」に対して、先々大きな対策が取れるかもしれない。坂はかなり急であり、あの辺の雪対策は必要だが、当面は対処療法になると思う。</p>		

【3. 発言者】

- ① 通学路に街灯が少ない。夏場はまだ明るいので良いが冬は困る。愛宕の方が特に暗い。もう少し増やしてほしい。
- ② 「夢の学校」への入口がわからないという声が多い。本町から入ってくるところに看板がないと、他地域から来る人はわからない。

【市 長】

- ①② 伝えておく。

【4. 発言者】

中心市街地でイベントをやる場合、資機材を格納する倉庫が必要となる。文化ホールなど整備するときには倉庫のことも考えてもらいたい。

【市 長】

何か整備するときには、そういったことも考えいかなければならないと思うが、地域の中に善意でお貸しいただける人がいればありがたい。ご協力いただきたい。

【5. 発言者】

先ほど市民文化ホール完成後の公民館跡地の整備などの話があったが、その際にはぜひ晒川も整備に含めて、散策できるような公園にしてもらいたい。

【市 長】

今のところは公民館をどうするかというところであり、晒川については何も計画はないが、たしかに公園等になれば良いと思う、夢は膨らむ。

今後、文化ホールが形になってくると、その後どうするかという次の話が出てくる。今ほどの話をしっかり入れていかなければいけないと思う。通学路の話も含めて計画に入れたいといけない。